

① 研究業績

1. 著書

- ・ 該当なし

2. 論文

- ・ 「日本語学習者の聞き手としての行動を評価する-相づちと頷きの不自然さに着目して-」、半沢千絵美、Journal CAJLE、査読有、vol.17、2016年
- ・ 「日本語会話における話題転換時の相づち・頷きの連鎖について-初対面同士の2人による自由会話の分析から-」、半沢千絵美、ときわの杜論叢、査読有、第3号、2016年
- ・ “Listening behaviors in Japanese: *Aizuchi* and head nod use by native speakers and second language learners.” Chiemi Hanzawa, Doctoral Dissertation, The University of Iowa, pp.1-212, December 2012.

3. 科研費実績

- ・ 該当なし

4. 学会発表

(1) 口頭発表

- ・ 「日本語母語話者と中国語を母語とする中上級日本語学習者の意見陳述の談話構成と文末表現形式」半沢千絵美、横山千聖、伊藤克洋、畑佐由紀子、第27回第二言語習得研究会全国大会、2016年12月
- ・ 「日本語スピーチ大会支援を通じた異文化間教育の試み」半沢千絵美、日本語教育国際研究大会 BALI 大会、2016年9月
- ・ 「学習者の「聞き方」に潜む不自然さ-母語話者による学習者の聞き手行動の評価からわかること-」半沢千絵美、カナダ日本語教育振興会 (Canadian Association for Japanese Language Education) 年次大会、2015年8月
- ・ 「母語話者と学習者の聞き手行動の違い-相づちと頷きの連鎖からみる考察-」半沢千絵美、第二言語習得研究会全国大会、2013年12月
- ・ 「自然な聞き手行動とは-母語話者と学習者の相づちと頷きの分析からの考察」半沢千絵美、日本語教育国際研究大会名古屋大会、2012年8月
- ・ “Beyond frequency: analyzing function of verbal and nonverbal *aizuchi* by native speakers and learners of Japanese” Chiemi Hanzawa, Association of Teachers of Japanese Annual Conference, 2012年3月

(2) ポスター発表、他

- ・ 「日本語母語話者と学習者を対象としたアカデミック・スピーキングコーパスの構築」半沢千絵美、横山千聖、伊藤克洋、畑佐由紀子、日本語教育学会秋季大会、2016年10月
- ・ 「母語話者と日本語学習者の話題転換時の言語・非言語行動-相づちと頷きの連鎖の分析から-」半沢千絵美、日本語教育学会第4回研究集会、2015年7月
- ・ 「地域における大学、日本語学校、国際交流協会、NPOの連携の可能性」中川健司・半沢千絵美・矢部まゆみ・浜元陽子、日本語教育学会実践研究フォーラムみんなの実践広場出展、2014年8月

②社会活動

- ・ 専門日本語教育学会 研究討論会実行委員 (2015.3～)
- ・ 日本語教育学会会員／社会言語科学学会会員／小出記念日本語教育研究会会員／専門日本語教育学会会員／AATJ (全米日本語教育学会) 会員／CAJLE (カナダ日本語教育振興会) 会員

③学内活動

1. 学内委員

- ・ 全学教育部会委員 (2015年8月～2017年3月)

2. 日本語教育部内

- ・ 日本語教育部教務担当 (2014年10月～)
- ・ サマープログラム担当 (2015年4月～)
- ・ JOYプログラム日本語教育コーディネーター (2014年10月～)
- ・ 第4回 YNU 日本語スピーチ大会実行委員長 (2014年12月)
- ・ 第6回 YNU 日本語スピーチ大会実行委員長 (2016年12月)

3. 海外との連携に関する業務

- ・ ベトナム国家大学ハノイ校経済経営大学学部生のための特別授業 (2017年2月)
- ・ 華東師範大学 MBA 生のための特別授業 (2017年1月)
- ・ 華東師範大学 MBA 生のための特別授業 (2016年1月)
- ・ 留学生向け短期集中プログラムに関する予備調査実施 (2015年4月～12月)
- ・ アメリカ・ユタ州立大学 (Utah State University) 訪問 (2015年3月)